

手足口病が流行しています



定点医療機関あたりの患者数が2026年21週に警報レベルの「5」を超え、29週は「7.00」と引き続き流行しています。
約90%を5歳以下が占めており、保育園などで注意が必要です。

1 主な症状

- 感染の3～5日後に口の中、手のひら、足のうらなどに2～3mmの発疹が出ます。
- 約3分の1に発熱が見られますが、高熱が続くことはありません。
- ほとんどは数日間のうちに治ると言われています。

2 感染経路

- 飛沫感染、接触感染、糞口感染が知られています。
- 特に、乳幼児が集団生活をしている「保育施設」や「幼稚園」などでは注意が必要です。

3 予防方法

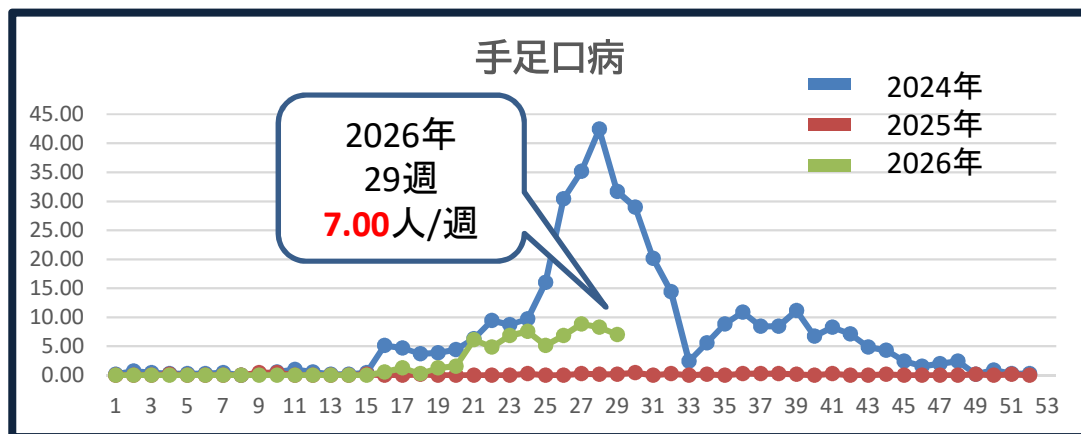
- ① 手洗いをしっかりする
- ② 排泄物を適切に処理する



乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、手洗いが大切です。
おむつ交換は、手袋を着用し、おむつは2重のビニール袋に入れて捨て、交換後は手洗いしてください。
タオルの共有も避けましょう。

定点当たりの手足口病患者報告数

定点当たりの患者数(人)



定点報告(週)